



日本肝炎デー啓発の取組について

1 要旨・目的

世界保健機関（WHO）は、2010年に世界的レベルでのウイルス性肝炎のまん延防止と患者・感染者に対する差別・偏見の解消や感染予防の推進を図ることを目的として、7月28日を『世界肝炎デー』と定め、肝炎に関する啓発活動等の実施を提唱している。

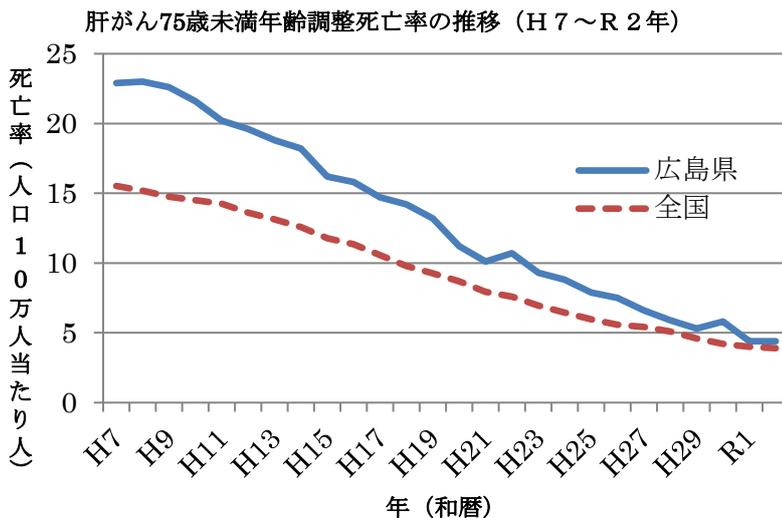
ウイルス性肝炎は、治療せずに放置すると肝硬変や肝がんに行進することもある感染症で、日本には約300万人の感染者が存在し、「国内最大級の感染症」と言われている。

わが国でも7月28日を「日本肝炎デー」と定め、7月28日を含む月曜日から日曜日までの1週間を「肝臓週間」とし、全ての方に対して、肝炎に関する正しい知識の普及啓発に取り組むこととしており、本県においても街頭での啓発キャンペーンを実施する。

2 現状・背景

広島県では、B型肝炎ウイルスキャリアが推定約4万人、C型肝炎ウイルスキャリアが推定約2万2千人と言われている。

グラフのとおり、広島県の肝がん75歳未満年齢調整死亡率は年々減少しているが、未だに全国平均よりも高い状況である。



参考：令和2年肝がんの75歳未満年齢調整死亡率
広島県 4.4 全国 3.9

出典：国立がん研究センター
がん対策情報センター
がん統計都道府県比較

肝がんの大半はB型及びC型肝炎ウイルスの持続感染が原因であることが分かっている一方で、感染後の自覚症状があまりないため、感染していることに気が付きにくく、継続的な通院もやめてしまうことがある。

肝がんになることや病状が悪化することを防ぐためには、B型・C型肝炎ウイルスに感染していることを早期に発見し、早期に治療を行うことが大切である。

3 概要

- (1) 実施主体 広島県
- (2) 実施日時 令和4年7月28日（木）9時30分から11時（予定）
- (3) 場 所 JR広島駅北口2階ペディストリアンデッキ（広島県広島市南区松原町5）
- (4) 実施内容 啓発資材を配布し、肝炎ウイルス検査の受検勧奨や肝炎に関する正しい知識を普及啓発する。

4 その他（関連情報等）

参加者：広島大学、アッヴィ合同会社、全国B型肝炎訴訟広島原告団、広島産業保健総合支援センター、全国健康保険協会広島支部、ひろしま肝疾患コーディネーター